

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2020年 第11週（3月9日～3月15日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 減少傾向」

第11週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,129例であり、前週比15.0%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、水痘、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.53、1.88、0.27、0.26、0.23である。

感染性胃腸炎は前週比16%減の498例で、南河内4.56、中河内4.15、泉州3.30、大阪市北部2.71、大阪市西部2.44であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は14%減の371例で、泉州2.95、南河内2.63、堺市2.26である。

咽頭結膜熱は10%減の53例で、大阪市北部0.79、中河内0.55、三島0.53であった。

水痘は12%減の51例で、大阪市北部0.43、北河内0.41、中河内・泉州0.30である。

RSウイルス感染症は41%減の46例で、大阪市北部0.50、大阪市西部0.44、泉州0.40であった。

インフルエンザは65%減の759例で、定点あたり報告数は2.53であった。南河内4.08、大阪市北部3.90、中河内3.50であり、全ブロックで注意報レベルである10を下回った。

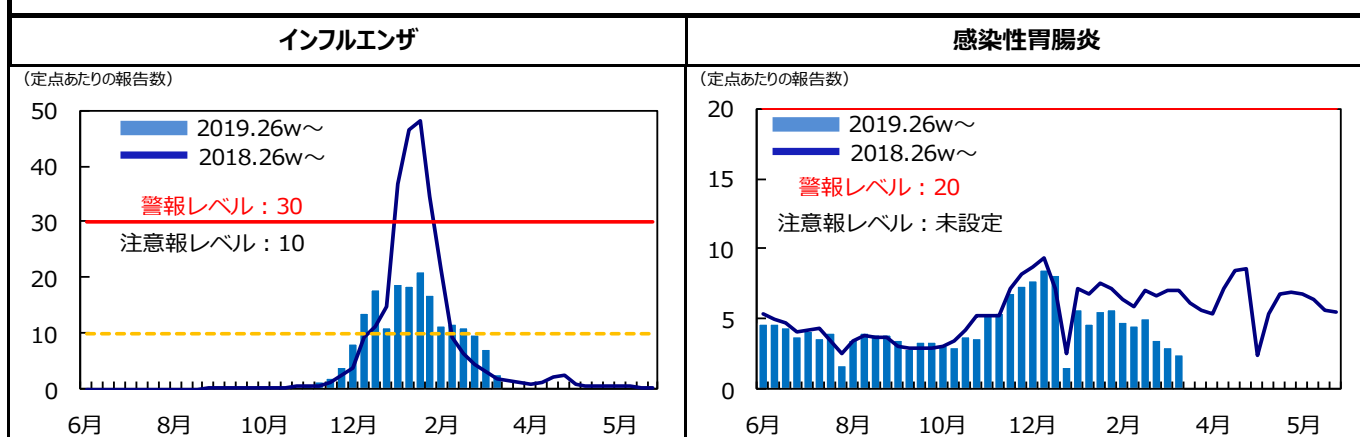


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2020年 第11週3月9日～3月15日）

第11週の順位	第10週の順位	感染症	2020年 第11週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第11週の 定点あたり 報告数	2020年第11週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.53	16%減	7.06	1歳_14%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.88	14%減	2.69	4歳_17%
3	4	咽頭結膜熱	0.27	10%減	0.48	1歳_23%
4	5	水痘	0.26	12%減	0.36	7歳_20%
5	3	RSウイルス感染症	0.23	41%減	1.15	1歳未満_30%
5	6	突発性発しん	0.23	4%減	0.38	1歳_49%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	2.53	65%減	1.85	6歳_16%

第11週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防（手洗いや咳エチケットなど）の徹底を

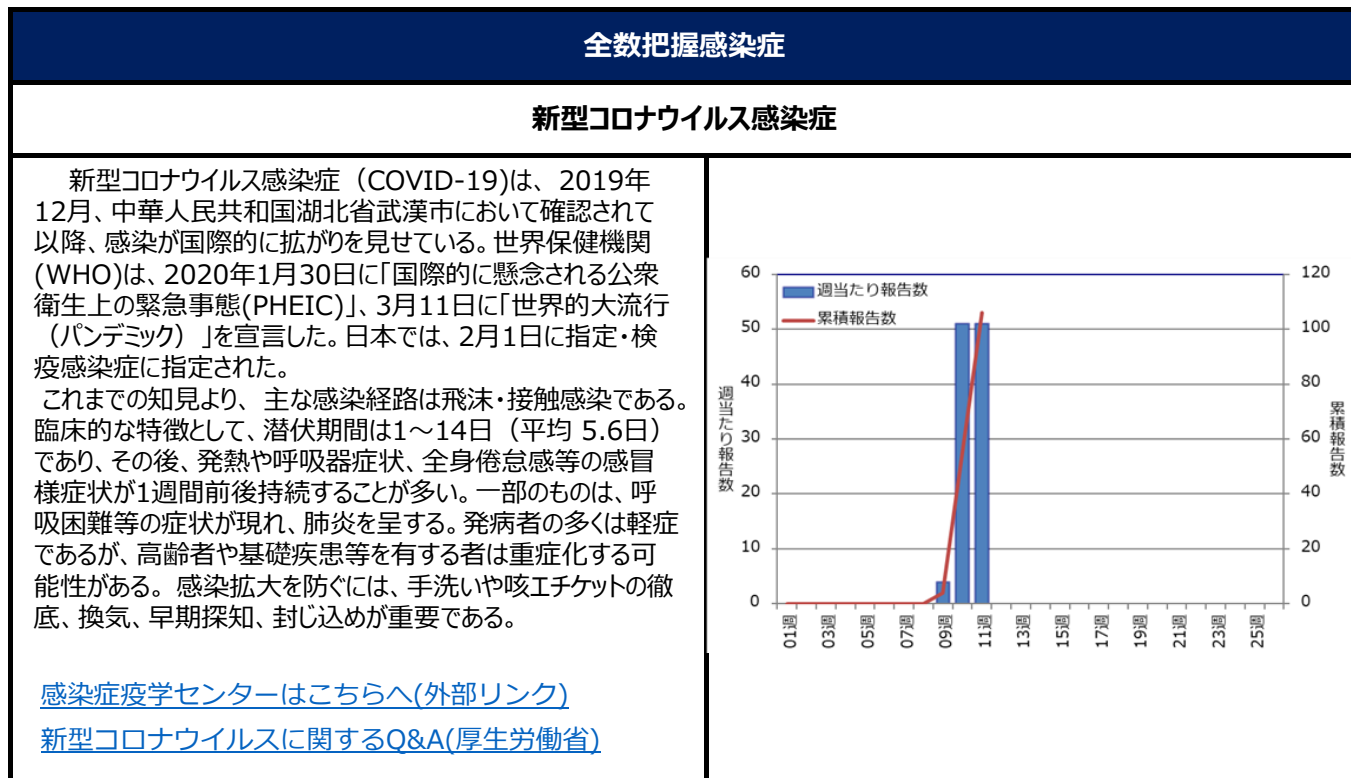


表2. 大阪府全数報告数（2020年 第11週3月9日～3月15日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。
 新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。）

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
4類感染症	デング熱	1								1	4
5類感染症	アメーバ赤痢	2	1		1						11
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1								30
	後天性免疫不全症候群	1								1	21
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1				48
	水痘（入院例）	1							1		3
	梅毒	12	1		4	1	1		1	4	188
	百日咳	5						1	1	3	71
	麻しん	1								1	1
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	51									106
結核 (2020年1月分)	結核 新登録患者数：138名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 47名) (府内累積報告数 138名、内 肺・喀痰塗抹陽性 47名)										

(2020年3月18日 集計分)